

士別市下水道事業 経営戦略の改定【概要版】

【 公共下水道・特定環境保全公共下水道・農業集落排水・個別排水処理施設 】

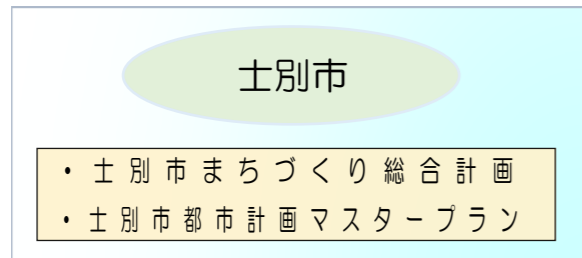
1. 経営戦略改定の趣旨

経営戦略は、計画値と実績値の乖離を検証し、経営健全化の進捗管理を行うとともに、経営環境の変化に応じて効率的な事業経営を行うために定期的な見直しが必要です。

経営戦略の策定期間は、平成 30 年度（2018）から令和 9 年度（2027）までの 10 年間としており、今回の改定は期間内において見直しするものです。

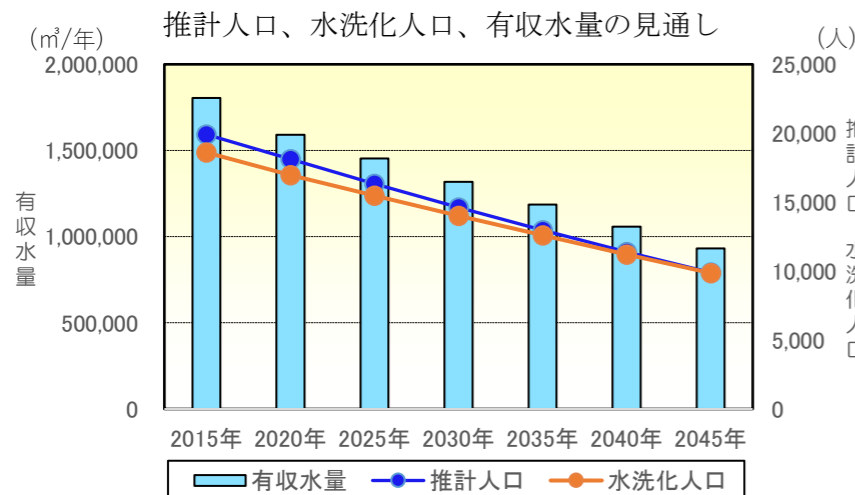
なお、令和 6 年 4 月から地方公営企業法を適用することで、資産状況を踏まえた経営分析が可能となることから、令和 6 年度に向けて新たな経営戦略を策定します。

2. 経営戦略の位置付けと計画期間

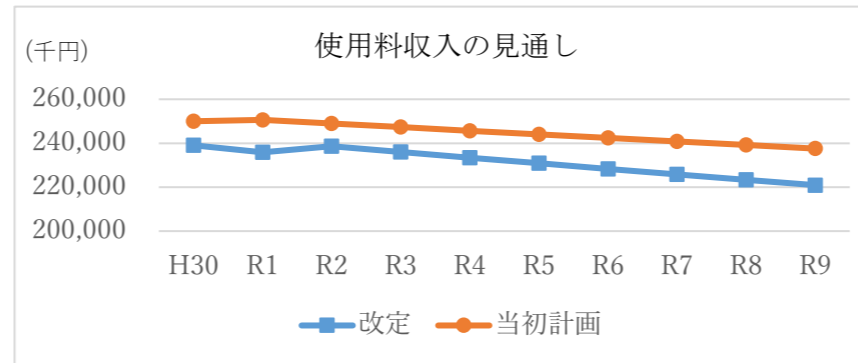


士別市下水道事業経営戦略
2018 年度（平成 30 年度）～2027 年度（令和 9 年度）

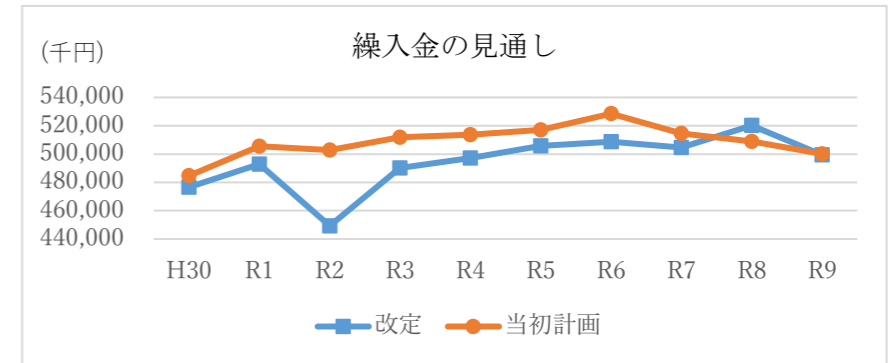
3. 将来の事業環境



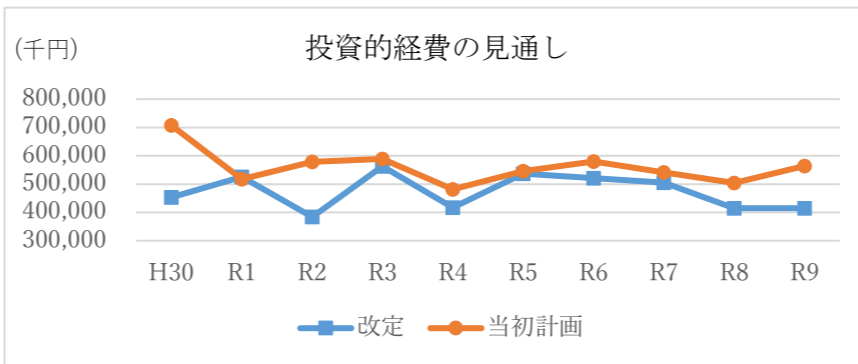
4. 経営の状況と今後の見通し ※グラフの数値は下水道 4 事業の合算値で、改定（青線）の R2 までは実績値です。



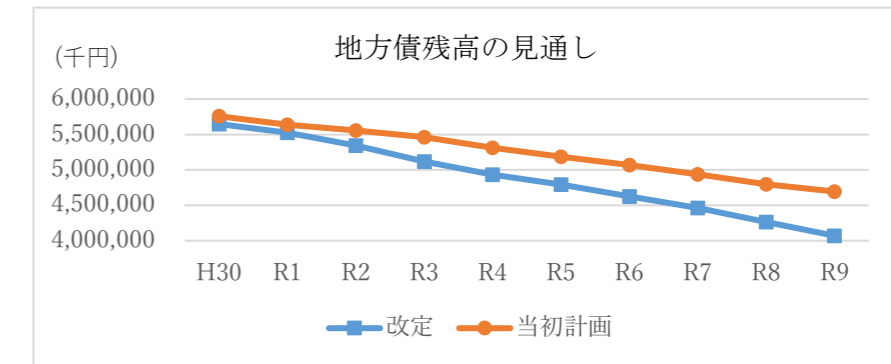
- ・ R2 決算で計画より約 1 千万円の減
- ・ 節水意識の高まりと基本水量の基準を変更したことで減少
- ・ 人口の減少に伴い当初計画以上に減少する見通し



- ・ 維持管理経費の節減により当初計画を下回る
- ・ 今後は、使用料収入の減少により増加する見通し
- ・ 令和 6 年度からの公営企業法適用により操出基準を見直す



- ・ 実績は補助採択率により増減
- ・ 効率的な維持管理に努め、長寿命化とコスト削減を図る
- ・ 基礎的財政収支を踏まえて投資的経費を抑制する



- ・ R2 決算で計画より 2 億円以上の減
- ・ 補助金や交付金の確保により起債発行額の削減を図る
- ・ 投資的経費を抑制することで計画より減少する見通し

5. 経営健全化の取り組みと業務指標

| 経営改善の取り組み | 具体的な取り組み内容 | 業務指標 | 目標 (R 9 年度) |
|-------------|--|--|-------------|
| 収入増加の取り組み | <ul style="list-style-type: none"> ・ 口座振替の推進 ・ コンビニエンスストアでの納付開始 ・ スマートフォンアプリからの納付開始 | 収納率（現年度分） ・ 使用料の調定額のうち実際に納付された額の割合を表す指標 | 現状維持 |
| 支出削減の取り組み | <ul style="list-style-type: none"> ・ 隔月検針・隔月請求に移行 ・ 集金業務廃止 | 経費回収率 ・ 使用料で回収すべき経費をどの程度使用料で賄えているかを表した指標 | 改善 |
| 財政状況を考慮した投資 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助金や交付金の確保 ・ 基礎的財政収支を踏まえた投資 | 企業債残高事業規模比率 ・ 使用料収入に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表す指標 | 減少 |